

2024年9月11日
NHK広報局

ラジオ国際放送等の問題に対する行政指導について

NHKのラジオ国際放送などの中国語ニュースで中国籍の外部スタッフが沖縄県の尖閣諸島の帰属などをめぐり、原稿にはない日本政府の公式見解とは異なる発言を行った問題で、NHKは本日、総務省から、今後このようなことがないように注意を受けるとともに、再発防止策の徹底とその遵守状況の公表などを求める行政指導を受けました。

【NHKコメント】

今回の事案は、自ら定めたNHK国際番組基準に抵触するなど、NHKが、放送法で定められた担うべき責務を果たせなかったという極めて深刻な事態であり、重く受け止めています。改めて、深くお詫び申し上げます。

再発防止策を確実に実行し、国際放送に関するガバナンスを強化するとともに、NHK全体において、放送の自主自律の堅持とリスク意識の向上を図り、説明責任を果たしながら、視聴者・国民のみなさまから負託された公共放送の使命を果たしてまいります。